

令和3年度 大分市社会福祉協議会事業報告書

令和3年度中に本会が実施した事業は、次のとおりです。

総務課

総務課は、本会の会務や人事、予算管理を行うとともに、会員制度の充実強化や各種団体への補助金等の交付事務、指定管理者として施設の効果的な管理運営等に努めました。

1 会務

(1) 評議員会

月 日	会 場	議 題
令和3年6月23日(水)	みなし決議	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度事業報告について・令和2年度収支決算について・理事の選任について・監事の選任について
令和3年12月21日(火) 14:30~15:20	J:COMホルトホール大分3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度資金収支補正予算(第1号)について
令和4年3月29日(火) 14:30~15:25	J:COMホルトホール大分3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度資金収支補正予算(第2号)について・令和4年度事業計画について・令和4年度資金収支予算について

(2) 理事会

月 日	会 場	議 題
令和3年4月1日(木) 14:00~14:20	J:COMホルトホール大分3階 302・303会議室	<ul style="list-style-type: none">・会長の選定について・常務理事の選定について・評議員選任・解任委員会委員の選任について
令和3年6月1日(火) 14:00~15:10	J:COMホルトホール大分3階 302・303会議室	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度事業報告について・令和2年度収支決算について・評議員候補者の推薦について・理事候補者の選任について

月 日	会 場	議 題
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 監事候補者の選任について ・ 福祉サービス等改善向上委員会委員の選任について ・ 令和3年度第1回評議員会の開催について
令和3年6月23日(水) 14:00~14:25	J:COMホルトホール大分3階 302・303会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長の選定について ・ 副会長の選定について ・ 常務理事の選定について
令和3年12月10日(金) 14:00~15:15	J:COMホルトホール大分3階 302・303会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度資金収支補正予算(第1号)について ・ 令和3年度第2回評議員会の招集について ・ 大分市ホームヘルパーステーションさざんか佐賀関事業所運営規程等の一部改正について(令和3年7月1日会長専決処分)
令和4年3月16日(水) 14:30~15:45	J:COMホルトホール大分3階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度資金収支補正予算(第2号)について ・ 令和4年度事業計画について ・ 令和4年度資金収支予算について ・ 職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について ・ 自動車管理規程の一部改正について ・ 役員等賠償責任保険契約の締結について ・ 令和3年度第3回評議員会の招集について ・ 職員の給与及び退職手当に関する規程の一部改正について(令和3年12月21日会長専決処分) ・ 大分市ホームヘルパーステーションさざんか運営規程等の一部改正について(令和3年12月24日会長専決処分)

(3) 三役会

月 日	会 場	議 題
令和3年5月25日(火) 14:00~15:20	J:COMホルトホー ル大分4階 409会議室	<ul style="list-style-type: none">・令和2年度事業報告について・令和2年度収支決算について・評議員候補者の推薦について・理事候補者の選任について・監事候補者の選任について・福祉サービス等改善向上委員会委員の選任について・令和3年度第1回評議員会の開催について
令和4年3月3日(木) 14:00~15:50	J:COMホルトホー ル大分4階 408会議室	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度資金収支補正予算(第2号)について・令和4年度事業計画について・令和4年度資金収支予算について・職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について・自動車管理規程の一部改正について・役員等賠償責任保険契約の締結について・令和3年度第3回評議員会の招集について・職員の給与及び退職手当に関する規程の一部改正について(令和3年12月21日会長専決処分)・大分市ホームヘルパーステーションさざんか運営規程等の一部改正について(令和3年12月24日会長専決処分)

(4) 評議員選任・解任委員会

月 日	会 場	議 題
令和3年6月1日(火) 15:25~15:45	J:COM ホルトホー ル大分3階 福祉 関係団体活動室	・評議員の選任について

(5) 監 査

月 日	会 場	議 題
令和3年5月18日(火) 9:30~12:00	J:COM ホルトホー ル大分3階 福祉 関係団体活動室	・令和2年度事業報告について ・令和2年度収支決算について

2 会員制度の充実強化

会員規程に基づき、広く市民を対象に会員の拡充強化を図りました。

- 会費収入総額 19,479,760 円 (2年度 19,397,540 円)
 - ・ 一般会員 140,673 口 16,880,760 円 (2年度 16,800,540 円)
 - ・ 賛助会員 1,824 口 1,824,000 円 (2年度 1,842,000 円)
(本会役職員、行政関係職員、自治委員、民生児童委員、福祉関係団体役員などの個人)
 - ・ 特別会員 155 口 775,000 円 (2年度 755,000 円)
(会社、事業所、福祉・医療などの団体)

【一般会員地区別累計表】 (単位：口、円)

地区名	3年度		2年度	
	口数	金額	口数	金額
大分地区	69,192	8,303,000	69,043	8,285,160
鶴崎地区	22,803	2,736,360	22,374	2,684,880
大在地区	8,085	970,240	7,300	875,980
坂ノ市地区	5,191	622,920	5,156	618,720
大南地区	6,971	836,520	7,203	864,440
植田地区	23,828	2,859,360	24,241	2,908,920
佐賀関地区	3,389	406,680	3,452	414,240
野津原地区	1,214	145,680	1,235	148,200
合計	140,673	16,880,760	140,004	16,800,540

3 寄託・寄附金品

市民の方々から福祉事業のために寄附された香典返し、篤志などの金品は以下のとおりです。

【令和3年度寄託・寄附金】 (単位：件、円)

区分	5千円以下	5千円超 1万円以下	1万円超 2万円以下	2万円超 5万円以下	5万円超 10万円以下	10万円超 20万円以下	20万円超	3年度 計	2年度 計
香典 返し	64件 281,000円	226件 2,260,000円	71件 1,405,000円	70件 2,565,000円	6件 550,000円	0件 0円	0件 0円	437件 7,061,000円	494件 8,677,000円
篤 志	3件 15,000円	12件 120,000円	4件 64,679円	2件 100,000円	4件 370,037円	3件 453,010円	2件 1,700,000円	30件 2,822,726円	29件 1,820,620円
物 品	0件 0円	0件 0円	1件 16,750円	1件 33,500円	2件 174,834円	0件 0円	0件 0円	4件 225,084円	8件 961,750円
3年 度	67件 296,000円	238件 2,380,000円	76件 1,486,429円	73件 2,698,500円	12件 1,094,871円	3件 453,010円	2件 1,700,000円	471件 10,108,810円	531件 11,459,370円
2年 度	76件 332,620円	277件 2,770,000円	79件 1,565,250円	76件 2,813,500円	15件 1,500,000円	5件 854,000円	3件 1,624,000円	531件 11,459,370円	

4 校(地)区社会福祉協議会、各種団体等への補助金等の交付

No.	補助金等名称	交付団体名称	交付金額(円)	
			3年度	2年度
1	校(地)区社協活動費交付金(前期分)	校(地)区社会福祉協議会	17,128,000	17,128,000
2	校(地)区社協活動費交付金(後期分)	〃	4,323,000	4,320,000
3	校(地)区社協福祉活動費交付金	〃	8,440,260	8,400,270
4	地区社協福祉活動費助成金	地区社会福祉協議会	2,481,500	2,821,000
5	高齢者生きがい対策事業補助金	校(地)区社会福祉協議会	639,160	654,863
6	小地域福祉ネットワーク事業交付金	〃	3,950,000	3,980,000
7	生活支援体制整備事業モデル校区活動費交付金	〃	283,838	187,396
8	地域ふれあいサロン事業補助金	高齢者サロン	14,314,060	14,269,178
9	地域ふれあいサロンレクリエーション補助金	〃	0	0
10	ふれあい・いきいきサロン事業補助金	子育てサロン	552,943	388,000
11	ボランティアグループ活動助成金	ボランティア団体	439,250	595,500
12	大分市ボランティア連絡協議会運営補助金	大分市ボランティア連絡協議会	200,000	200,000
13	大分市社会福祉協議会老人部会運営補助金	大分市社会福祉協議会老人部会(大分市老人クラブ連合会)	1,000,000	1,000,000
14	大分市社会福祉協議会母子福祉部会運営補助金	大分市社会福祉協議会母子福祉部会(大分市母子寡婦福祉会)	218,000	218,000
15	大分市社会福祉協議会保育部会運営補助金	大分市社会福祉協議会保育部会	390,000	390,000
16	大分市社会福祉協議会心身障害児者部会運営補助金	大分市社会福祉協議会心身障害児者部会(大分市身体障害者福祉協議会連合会)	205,000	205,000
17	大分市社会福祉協議会老人福祉施設部会運営補助金	大分市社会福祉協議会老人福祉施設部会	140,000	140,000
18	大分市社会福祉協議会施設部会運営補助金	大分市社会福祉協議会施設部会	140,000	140,000
19	大分市青少年健全育成連絡協議会運営補助金	大分市青少年健全育成連絡協議会	685,000	685,000
20	大分市子ども会育成連絡協議会運営補助金	大分市子ども会育成連絡協議会	100,000	100,000
21	大分市手をつなぐ育成会運営補助金	大分市手をつなぐ育成会	95,000	95,000
22	大分市社会福祉協議会民生児童委員会運営補助金	大分市社会福祉協議会民生児童委員会部会(大分市民生委員児童委員協議会)	950,000	950,000
23	大分市民生委員児童委員生活福祉資金貸付業務助成金	大分市民生委員児童委員協議会	2,108,340	2,108,340
24	大分市身体障害者グラウンドゴルフ大会開催補助金	大分市身体障害者福祉協議会連合会	0	0
25	視覚障害者ウォーキング大会補助金	大分市視覚障害者協会	45,000	0
26	「社会を明るくする運動」開催補助金	大分保護区保護司会	72,000	72,000
27	大分市婦連大会開催補助金	大分市地域婦人団体連合会	72,000	72,000
合 計			58,972,351	59,119,547

5 指定管理者制度による施設管理

大分市の施設である大分市生き生きプラザ潮騒、大分市多世代交流プラザについて、指定管理者として適切な運営に努めました。

新型コロナウイルス感染防止対策を講じる中での運営となり、フィジカルディスタンスを確保するために、利用者人数を制限しての運営を行ったため、多くの自主事業が未実施となりました。

(1) 大分市生き生きプラザ潮騒（大分市大字佐賀関 869 番地の 4）

事業名	事業計画・目標	事業実績
サロン指導者 ゲーム講習会	小地域でのサロン活動関係者を招き、指導者としての心得やサロンで行う各種ゲームの質の向上を目指すため講習会を開催する。 参加者に、実際に各種ゲームを体験してもらうことで、運営のマネリ化の防止と魅力づくりに役立てることを目的とする。	・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
中学生の高齢者疑似体験・ボランティア交流会	中学生を対象に、高齢者疑似体験を実施し、高齢者及び障がい者への理解を深めてもらうとともに、潮騒利用者との交流会を開き、次代を担う地域福祉ボランティアを育成することを目的とする。	・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
地域住民交流 活性化	佐賀関地域の各サロン対抗による「スカットボール大会」を実施し、地域住民の交流と高齢者の健康維持及び生きがい対策の推進を目的とする。	・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
ふれあい作品 発表交流会	高齢者と園児等を対象として、趣味の手づくり作品の発表の場を提供することにより、作品出品者と一般来場者や園児等の交流を促進するとともに、高齢者等が趣味をとおして、生きがいづくりを図ることを目的とする。	・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
よっといで・遊 びの学校事業 施設の貸出・利 用	小学生を対象に、高齢者の方々のボランティア活動の助成を得てイベントを開催し、世代間交流と児童の健全育成を図ることを目的とする。 (佐賀関公民館と共催) 高齢者の健康の増進と自主的な活動の促進を目指すとともに施設の利用拡大を目的とする。	・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

事業名	事業計画・目標	事業実績
子育てサロン 「関キッズ」交流事業	未就学児童の社会性育成、保護者の育児負担軽減、潮騒利用者との交流を目的とする。	・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
その他の通常活動	潮騒ホール、入浴施設を開放し高齢者の引き籠もりを 방지、社会参加を促すことを目的とする。	<p>・60歳以上で、かつ、歌声や切り絵などのグループに加入する市民を対象に入浴施設及びホールの設備等の利用並びに貸出を行い、高齢者の生きがい対策等、健康づくりの支援を行った。</p> <p>・H22年12月、佐賀県地区の民間浴場が閉鎖したことに伴い、自宅に風呂場のない高齢者を対象に、H23年1月から潮騒の浴場の利用提供を行っている。</p> <p style="text-align: right;"> 高齢者利用者数 1,205人 浴場利用者数 1,679人 事業利用者数 0人 会議利用 0人 <hr style="width: 100px; margin-left: auto; margin-right: 0;"/> 総計 2,884人 </p>

【令和3年度 大分市生き生きプラザ潮騒利用状況】

(単位：団体、人)

月	高齢者利用							潮騒事業 利用		会議等		浴場 利用者	合計
	渚の 会	健康 クラ ブ	カモメ の会	花の会	椿会	その 他	小計	利用 団体	利用 人員	利用 団体	利用 人員		
4月	19	27	27	31	29	0	133	0	0	0	0	178	311
5月	9	17	16	27	30	0	99	0	0	0	0	138	237
6月	8	34	24	27	23	0	116	0	0	0	0	165	281
7月	5	4	13	16	13	0	51	0	0	0	0	70	121
8月	6	27	14	21	17	0	85	0	0	0	0	123	208
9月	0	27	30	24	25	0	106	0	0	0	0	147	253
10月	1	28	29	23	29	0	110	0	0	0	0	147	257
11月	25	23	8	23	27	0	106	0	0	0	0	144	250
12月	11	21	25	24	29	0	110	0	0	0	0	153	263
1月	0	19	22	22	27	0	90	0	0	0	0	132	222
2月	9	26	15	24	17	0	91	0	0	0	0	130	221
3月	2	29	28	29	20	0	108	0	0	0	0	152	260
3年度	95	282	251	291	286	0	1,205	0	0	0	0	1,679	2,884
2年度	103	264	180	262	243	0	1,052	0	0	0	0	1,462	2,514

(2) 大分市多世代交流プラザ（大分市大字野津原 800 番地 大分市野津原市民センター2 階）

事業名	事業計画・目標	事業実績
親子クッキング教室	大分市民で未就学児（4歳以上）のいる家庭を対象に、親子で調理等を楽しんでもらうことで、参加者の健康増進や食育の推進、日常生活での調理実践の促進、参加者同士の交流を図ることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・野津原地区食生活推進協議会・野津原公民館の協力を得て、未就学児童と親を対象に親子クッキング教室を開催した。 10/23（土）7組(14人)参加 講師5名 11/27（土）8組(16人)参加 講師5名 12/18（土）7組(15人)参加 講師5名
野津原っ子まつり	未就学児とその家族を対象に、各遊びのブース等にて親子で楽しく触れ合い、交流を図ってもらうことを目的とする。	・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
スカットボール大会	地域で活動している各サロン間におけるふれあい交流を目的とする。	・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
ほっとアロマ教室	認知症やインフルエンザ予防、肩こり用等のオリジナルのアロマを作り体験することで、心と体をリフレッシュし、健康促進を図ること及び受講生間のふれあい交流を目的とする。	<水曜開催> 9/8（水）参加者 8名 10/13（水）参加者 8名 11/10（水）参加者 9名 <土曜開催> 9/11（土）参加者 9名 10/9（土）参加者 8名 11/13（土）参加者 5名 総参加者数 47名
世代間交流健康づくり	県看護科学大学や野津原推進員と連携して、講座の開催や世代間交流を行うことにより高齢者等の健康づくりを目的とする。	・新型コロナウイルス感染症の影響により中止。
施設の貸出	高齢者をはじめとするあらゆる市民の福祉や健康の増進、文化・教養の向上、レクリエーション活動の場として、施設の積極的な貸出しを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流プラザ内の大ホール、健康コーナー、談話室 ・市民センター内の多目的ホール、大会議室 ・野津原公民館内の調理室 ・時間外も予約制にて対応。

【令和3年度 大分市多世代交流プラザ利用状況】

(単位：団体、人)

月	各教室		各同好会		高齢者 団体		社協 関係 講座	会議 等 研修 会	ボラン ティア 団体 数	校(地 来所者)- 区社 協	保健 行政 所	他 来 所 者 数	社協 講 師	合 計
	団体 数	参加 者 数	団体 数	参加 者 数	団体 数	参加 者 数								
4月	15	119	1	4	0	0	0	67	44	6	0	59	0	299
5月	7	31	2	6	0	0	0	56	0	20	0	31	0	144
6月	11	82	2	6	0	0	0	31	36	8	0	29	0	192
7月	11	93	2	8	0	0	0	38	32	23	0	27	0	221
8月	7	51	2	7	0	0	0	28	8	2	0	27	0	123
9月	13	84	2	5	0	0	17	40	0	3	0	34	2	185
10月	13	118	2	6	0	0	30	43	51	0	0	56	7	311
11月	16	136	2	8	0	0	30	35	74	4	0	50	7	344
12月	14	117	2	9	0	0	15	22	71	10	0	65	5	314
1月	7	54	2	8	0	0	0	57	44	6	0	44	0	213
2月	1	6	2	8	0	0	0	72	0	8	0	54	0	148
3月	11	80	2	8	0	0	0	42	0	5	0	72	0	207
3年度	126	971	23	83	0	0	92	531	360	95	0	548	21	2,701
2年度	94	758	31	156	0	0	76	415	405	75	53	680	10	2,628

6 福祉サービス等改善向上委員会の開催

社会福祉法第 82 条の規定により、社会福祉事業の経営者は、常にその提供する福祉サービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければならないものとされています。

令和 3 年度は、本委員会を 1 回開催しました。

福祉サービス等改善向上委員会

- 【内容】
- ・介護保険サービス事業における対応について
 - ・介護保険サービスセンター車両の駐車場所について

【日時】 令和 4 年 2 月 17 日（木）

7 研修活動の推進

【外部研修会への参加状況】

令和 3 年 5 月 26 日、27 日	災害時の連携を考えるフォーラム
令和 3 年 11 月 3 日	自立支援全国研究交流大会
令和 3 年 12 月 22～24 日	社会福祉法人会計実務講座
令和 4 年 1 月 9 日	生活支援コーディネーター研究協議会
令和 4 年 2 月 21 日	職業紹介責任者講習

【内部研修会の実施状況】

令和 3 年 10 月 18 日	広報活動研修
令和 3 年 11 月 30 日	新採用職員研修
令和 4 年 2 月 7～25 日	人権・同和問題研修

地域福祉課

地域福祉課は、第5次地域福祉活動計画推進のため、校（地）区社協が主体的に行う小地域福祉ネットワーク活動事業（以下「ふれあい活動事業」という。）や、住民相互活動のふれあいサロン活動などへの支援を行いました。また、福祉活動の担い手となるボランティアの支援と育成や災害時の支援体制の整備に努めました。併せて、新たな地域福祉の担い手の発掘・育成に関する検討等も行いました。

1 校（地）区社協活動の支援

本会では、各校（地）区社協が取り組んでいるふれあい活動事業等を積極的に支援するとともに、地域課題に対して校（地）区社協関係者との話し合いの場作りを進め、校（地）区社協ごとの地域福祉活動計画の策定とその計画実施の支援に取り組みました。

（1）ふれあい活動事業

本事業は、校（地）区社協が実施主体となって、地域の支援を要するひとり暮らし高齢者等を対象に、小地域（概ね自治会）で住民相互の見守り活動や生活課題に対する話し合い、助け合いを行う自主的な活動を支援する事業です。この事業を推進するため、本会は、各地域担当者による個別支援と合わせて、校（地）区社協に対する連絡会議や地域福祉推進委員への研修会を開催しました。

ア 校（地）区社協における令和3年度ふれあい活動事業の実態

ここ数年間は、ふれあい対象者数は横ばいで推移していますが、ふれあい協力者が減少傾向にあります。ふれあい協力者の減少については、ふれあい協力者の定義を、「身内ではなく近隣の方」としたことや、ふれあい協力者になることの負担感等が主な要因であると考えられ、新たな担い手確保の仕組みの検討が必要となっています。

令和3年度ふれあい活動集計表

(令和4年3月末現在、単位：地区、人)

No.	校(地)区	自治会数	民生委員 区数	ふれあい 対象者数	ふれあい 協力者数	協力者未 登録の対 象者数	緊急連絡 先未登録 の対象者 数	協力者・緊 急連絡先 共に未登 録の対 象者数
1	金池	16	32	484	344	205	47	20
2	長浜	8	14	255	205	66	37	7
3	荷揚	8	12	164	100	83	13	5
4	中島	9	14	242	157	115	24	8
5	住吉	6	13	198	96	74	11	8
6	春日	22	29	453	390	111	16	5
7	大道	13	27	270	136	38	51	14
8	西の台	10	16	345	205	109	4	2
9	八幡	11	12	209	219	29	3	1
10	南大分	8	21	458	327	143	18	11
11	城南	8	15	264	212	77	7	4
12	荏隈	6	14	319	237	123	12	6
13	豊府	8	23	397	248	168	10	6
14	滝尾	25	26	513	438	187	35	12
15	津留	19	30	623	313	366	40	25
16	東大分	12	16	245	107	138	59	56
17	日岡	8	16	251	135	156	21	15
18	桃園	12	16	249	213	79	6	2
19	明野	17	31	819	517	462	69	52
20	鶴崎	13	21	260	205	93	10	7
21	三佐	5	8	151	145	13	2	0
22	別保	9	25	257	194	118	3	0
23	明治	17	29	304	214	143	6	2
24	松岡	18	12	193	126	95	16	10
25	高田	8	10	224	149	65	17	2
26	川添	15	11	178	167	45	2	2
27	大在	13	25	338	279	89	12	2
28	坂ノ市	19	18	326	288	85	2	2
29	小佐井	8	8	126	112	17	2	1
30	丹生	9	8	89	107	3	0	0
31	佐賀関	59	38	742	691	91	24	4

No.	校(地)区	自治会数	民生委員 区数	ふれあい 対象者数	ふれあい 協力者数	協力者未 登録の対 象者数	緊急連絡 先未登録 の対象者 数	協力者・ 緊急連絡 先共に未 登録の対 象者数
32	こうざき	11	6	131	207	2	2	1
33	戸次	19	18	269	203	102	8	0
34	判田	25	14	219	222	67	4	0
35	竹中	17	9	101	107	4	2	1
36	吉野	12	9	127	134	11	5	1
37	植田	25	15	376	262	155	20	10
38	宗方	13	18	478	314	175	18	12
39	横瀬	15	22	431	289	187	6	3
40	賀来	21	13	206	161	28	1	1
41	東植田	24	24	639	627	138	8	7
42	寒田	19	16	217	158	93	11	7
43	敷戸	8	14	386	196	199	20	18
44	駕野	16	11	236	169	14	14	0
45	野津原	44	16	301	241	47	9	1
令和3年度 合計		688	795	14,063	10,566	4,808	707	353
令和2年度 合計		688	795	14,125	11,052	4,550	754	354

イ 校(地)区社協連絡会議の開催

本会議は、45校(地)区社協の会長、事務局長、民児協会長、地域福祉推進委員等を対象に、本会からの事業説明及び校(地)区社協間の情報交換等を目的としています。

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により、連絡会議は中止し、予定していた内容の資料を関係者に送付しました。

ウ 地域福祉推進委員研修会の開催

地域福祉推進委員は、校(地)区社協が主体的に取り組むふれあい活動事業において、本会の地域担当者と連携してこの事業の推進を担う役割があることから、その育成のための研修会を開催しています。令和3年度は、第1回研修会(テーマ別に実施)と第2回研修会を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により、第2回研修会は中止しました。

(ア) 令和3年度第1回地域福祉推進委員研修会（テーマ別）

（場所：J:COM ホルトホール大分 大会議室）

テーマ① 住民主体の訪問型支援活動の情報交換をしよう！

【内容】 各校（地）区社協で行っている訪問型支援活動の情報交換

【日時】 令和3年9月28日（火）13：30～15：30

【参加者数】 35名

テーマ② 広報によって地域活動をPRしていく方法を学ぼう！

【内容】 広報誌作成の意義とポイント

【日時】 令和3年10月18日（月）10：00～12：00

【講師】 国立大学法人大分大学大学院特任教授 佐藤由美子氏
大分合同新聞社地域連携室長 三股秀明氏

【参加者数】 25名

テーマ③ 地域住民の集いの場の開催方法について考えよう！

【内容】 各校（地）区社協が行う集いの場について情報交換

【日時】 令和3年11月1日（月）13：30～15：30

【参加者数】 33名

テーマ④ ふれあい活動と災害時に備えた活動を考えよう！

【内容】 災害時に備えた活動について講義

【日時】 令和3年12月6日（月）13：30～15：30

【参加者数】 45名

(イ) 校（地）区社協情報交換会

既に住民主体の訪問型支援活動（ボランティアによるふれあい対象者等への個別の生活支援）を実施している校（地）区社協の地域福祉推進委員及び活動実践者同士での情報交換を行うことで地域福祉活動の充実・推進を図るため、標記の情報交換会を実施しました。

校（地）区社協情報交換会（場所：J:COM ホルトホール大分 302・303 会議室）

【内容】 ・各校区における訪問型支援活動の実施内容
・活動における担い手の募集方法
・意見交換 など

【日時】 令和3年12月24日（金） 10：00～

【参加者数】 17名

(2) 生活支援体制整備事業（大分市からの受託事業）

本事業は、高齢者が住み慣れた地域で、生きがいを持って在宅生活を継続していくために、高齢者の社会参加・生活支援及び介護予防サービスの充実を踏まえた、地域における助け合い活動が行われる体制を整備するものです。

この事業の実施にあたっては、大分市を第1層（市内全域）及び第2層（概ね小学校区）に区分しており、第1層における地域住民・団体等の関係者の代表者等が、助け合い活動の推進等に関する協議を行う組織として第1層協議体を設置し、第2層における地域住民・団体等の関係者が、課題解決のための活動計画を策定後、助け合い活動の推進等に関する協議及び活動を行う組織として第2層協議体を設置しています。

本会は、第2層に生活支援コーディネーターとして地域担当職員を配置し、既存のふれあい活動を活かして各校（地）区社協で実態調査を行い、ニーズの把握や分析、対応策を協議したうえで、地域の実情に沿った校（地）区社協の地域福祉活動計画策定支援に取り組みました。

ア 校（地）区社協活動計画の策定や推進に関する協議・取組の支援

計画策定に着手した年度	校（地）区社協
平成 29 年度	南大分校区社協、三佐校区社協、明治地区社協、竹中校区社協、駕野校区社協、寒田校区社協
平成 30 年度	西の台校区社協、城南校区社協、荏隈校区社協、豊府校区社協、東大分校区社協、鶴崎校区社協、小佐井校区社協、宗方校区社協
令和元年度	判田校区社協、野津原地区社協
令和 2 年度	敷戸校区社協、坂ノ市校区社協
令和 3 年度	賀来校区社協

イ 令和 3 年度に地域福祉活動計画の策定に取り組んだ校（地）区社協への支援

【実施校（地）区】

敷戸校区社協・坂ノ市校区社協・賀来校区社協

【事業実績】

令和 2 年度に地域福祉活動計画策定に着手した敷戸校区・坂ノ市校区では、引き続き計画策定のための協議を行い、計画を策定しました。坂ノ市校区ではふれあい対象者への実態調査を 292 名に実施しました。

また、令和 3 年度に地域福祉活動計画策定に着手した賀来校区では、ふれあい対象者への実態調査を 204 名に実施し、地域の課題への対応策について協議を行い、計画を策定しました。

2 ふれあいサロン活動

ふれあいサロンとは、地域住民が時間と場所を共有して交流する居場所です。住民の皆さんが主体となって自由な発想のもと、仲間づくり・居場所づくり・生きがいがづくりにつながる活動を行いました。

(1) 大分市地域ふれあいサロン事業（高齢者サロン）（大分市からの受託事業）

身近な場所（概ね自治会単位）で、地域に住む高齢者が集うことによる仲間づくり、地域住民のつながりづくり、介護予防を目的とした活動を支援する事業で、各サロンへの活動費の助成と運営の担い手育成支援などを行っています。

令和3年度は、令和2年度に引き続き、サロンコーディネーターによる個別相談対応やサロン交流会への参加により、サロンの実態把握や支援を行うとともに、新型コロナウイルスの影響を鑑み、活動交付金の対象活動の基準を一部緩和する取り組みを行いました。

また、サロンのプログラム企画の支援として、無料講師一覧と無料貸し出し用具の一覧を掲載した冊子「サロン活動のためのお役立ち情報」を作成し、サロンに送付しました。

令和3年度は新たに2サロンが新規に設立となり、令和3年度末時点での登録サロンは304サロン（令和2年度313サロン）となりました。

なお、令和3年度に活動したサロンは、285サロン（令和2年度301サロン）で、全てのサロンの参加登録者数は10,057人（令和2年度11,366人）、参加者の実績は延人数で95,216人（令和2年度94,877人）となっています。

ア 令和3年度のサロン活動状況アンケートの実施

新型コロナウイルス感染症拡大予防におけるそれぞれのサロンの活動状況の把握し、今後のサロン活動交付金の制度について検討するために実施しました。

【実施時期】 令和3年6月25日～7月15日

【対象数】 283サロン（アンケート調査実施時点の活動申請サロン）

【回答状況】 247サロン（回答率87.3%）

【内 容】 ①現在の開催状況について
②感染予防の工夫について
③活動に必要な情報について
④活動上の不安や悩みについて

イ サロン連絡会

概ね校区単位でのサロン間の情報交換の場であるサロン連絡会については、4ヶ所（植田、東植田、佐賀関、駕野）に参加し、サロン活動の状況把握を行いました。

ウ サロン訪問

サロン活動の実態把握を目的に6カ所のサロンへ訪問しました。

エ 令和3年度サロン代表者等事務説明会

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、事前に事務説明資料を代表者等へ送付し、事務説明を希望するサロンには別途、個別相談会を3会場で実施しました。

オ サロンボランティア育成研修会の開催

サロンに協力してくれる担い手（運営スタッフ、無料講師）の育成を目的に、大分市ボランティアセンターに登録している個人、団体の一部にサロンボランティア研修会を下記のとおり開催しました。

サロンボランティア育成研修会（場所：J:COM ホルトホール大分 302・303 会議室）

【内容】 ・「集いの場」のフレイル予防効果
・高齢者サロンの現状と課題

【日時】 令和4年3月22日（火） 13：30～

【参加者数】 15名

(2) ふれあい・いきいきサロン事業（子育てサロン）（自主事業）

概ね小学校区を範囲とした子育て中の親子が気軽に集うことで、子育ての悩みや思いを共有する仲間をより身近な範囲でつくる活動を支援する事業です。活動費の助成や運営リーダー等の育成支援を行っています。

令和3年度は新たに2サロンが新規に設立となり、令和3年度末時点での登録サロンは36サロン（令和2年度34サロン）となりました。

なお、全サロンのサロン参加登録者数は1,480人（令和2年度1,624人）、参加者の実績は延11,607人（令和2年度7,079人）となっています。

令和3年度は、コロナ禍における各サロンの課題や工夫等に関するアンケートを実施し、今後の活動の参考としてもらえるよう結果をまとめ、サロンに送付しました。

また、令和2年度に引き続き、活動交付金の対象活動の基準を一部緩和することにより、サロン活動支援に取り組みました。

ア 令和3年度のサロン活動状況アンケートの実施

新型コロナウイルス感染症拡大予防におけるそれぞれのサロンの活動状況の把握し、今後のサロン活動への支援を検討するために実施しました。

【実施時期】 令和3年11月26日～12月17日

【対象数】 34サロン（アンケート調査実施時点の活動申請サロン）

【回答状況】 33サロン（回答率97.1%）

【内容】 現在（令和3年度）の活動状況（休止中、開催等）
活動するうえでの悩みや工夫の有無とその工夫内容

イ 令和3年度子育てサロン連絡会の開催

新型コロナウイルスの影響により、開催を中止し、代わりに事務説明資料と11月から12月にかけて実施したアンケート報告を送付しました。

3 新たな地域福祉の担い手の発掘・育成

(1) 福祉協力員（仮称）の配置・支援に係る取組

令和4年度に取り組むモデル事業内容を検討したうえで、モデル事業の活動に類似した取組を実施している7校(地)区社協を対象に、モデル事業内容案について意見聴取を行いました。

意見聴取でいただいた意見をふまえ、モデル事業内容を決定し、モデル事業を実施する2校(地)区社協の選定に着手し、モデル実施校区で取り組む活動内容や担い手の配置単位、選任方法等について、モデル実施校区ごとに協議を行いました。

(2) 地域福祉活動ボランティア支援事業

校(地)区社協活動やサロン活動等を支援する地域福祉活動ボランティアの発掘・育成をすするため、大分市ボランティア連絡協議会と連携して、次の取り組みを行いました。

ア 大分市ボランティア連絡協議会会員へ希望する研修内容、及び研修案内等の情報提供について意向調査をしました。

イ 研修等の案内を希望する会員を対象に以下の研修会の案内をしました。

- ・12月6日 令和3年度地域福祉推進委員研修会「ふれあい活動と災害時に備えた活動を考えよう」

- ・3月22日 令和3年度「サロンボランティア研修会」

ウ 地域福祉活動ボランティアを発掘・育成するため、地域福祉活動実践者である校区ボランティアや一般ボランティアに担い手の現状や課題について意見聴取しました。

4 大分市ボランティアセンター事業

大分市ボランティアセンターは、ボランティア活動の支援事業やボランティアの育成事業を通して、ボランティア活動の振興を図り、地域福祉の推進に努めています。

(1) ボランティア活動支援

ア ボランティアに関する相談等

「ボランティア活動をしてみたい」「ボランティアをお願いしたい」などの相談や、ボランティア登録、活動保険等のボランティアに関する各種の相談、問い合わせなどに対応しました。

令和3年度：窓口・電話相談 約1,500件（令和2年度 約1,400件）

イ ボランティア登録の促進

令和3年度末：8,693人（298団体）、449人（個人）、合計9,142人（令和2年度9,034人）
内 新規登録として、316人（20団体）、42人（個人）

ウ ボランティアグループ活動助成金

継続的なボランティア活動の促進のため、活動経費（通信、電話等）の一部として助成金を1団体あたり2,750円～11,000円の範囲で交付しました。

令和3年度：総額439,250円/82団体（令和2年度595,500円/104団体）

エ ボランティア活動保険及び大分市市民活動等保険の加入促進

令和3年度：①ボランティア活動保険加入者3,598人（令和2年度3,877人）

②大分市市民活動等保険加入者1,810人（令和2年度2,021人）

オ 大分市ボランティア連絡協議会への支援

本会に登録するボランティアで構成するボランティア連絡協議会に運営支援を行い、自主的、創造的なボランティア活動の振興と活性化を図りました。

会 員：令和3年度末 83団体3,585人、個人5人

補助金：200,000円

主な活動	月日	内容
総会	5月27日 (書面議決)	R2事業報告・決算、R3事業計画・予算について新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止し、書面議決としました。
会員研修会 I・II・III		新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止しました。
その他		大分県社協主催講座、大分市社会福祉大会等に参加しました。

カ ボランティアルームの無料貸出

ボランティアルームは緊急小口資金等特例貸付の事務室として使用するため、他の部屋を代替として貸出しました。

(2) ボランティアの育成

ア 福祉教育支援事業

小中学校の児童生徒及び保護者を対象に、福祉教育を通して、人を思いやる豊かな心や誰もが安心して暮らせる社会を創造する力を育むとともに、ボランティア活動へのきっかけづくりに繋げることを目的として実施しました。

(ア) 福祉副読本「ふくしの心」(CD-R)の作成、配布

【対象】小学校5、6年生(教師用指導書含む)

【内容】福祉に対する関心や正しい理解、実践する態度を養うため、「明るい家庭」「お年寄りと共に」「障がいをこえて」「わたしたちにできること」「福祉ってなんだろう」について、市福祉関係課と連携して作成しました。

(イ) 福祉学習講座の開催

【対象】小中学校

【内容】福祉学習の手引きを配布し、手話や点字の学習、車いす・障がい者スポーツの体験、また、これらを通じた当事者の方との交流など、学校の希望に応じた出張講座を開催しました。

【令和3年度実績】小学校21校(1,860人)、中学校1校(124人)

イ 点訳ボランティア養成講座

点訳技術を習得した専門的ボランティアを養成するため年間45回講座を開催しました。令和3年度受講修了した5人は、今後、点訳ボランティアグループ「点訳友の会」に加入してボランティア活動を始める予定です。

ウ 朗読ボランティア養成講座

朗読技術を習得した専門的ボランティアを養成するため年間10回講座を開催しました。令和3年度受講修了した14人は、今後、朗読ボランティアグループを結成してボランティア活動を開始する予定です。また、これまでの修了者で結成する朗読ボランティアネットワーク会議に参加して、月1回の情報交換と技術向上を図っていきます。

エ 施設ボランティア体験事業(夏のボランティア体験月間含む。)

ボランティア活動をしたことがない人のために、福祉施設等でボランティア体験をしてもらうことで、ボランティア活動へのきっかけをつくるとともに、その後の継続した活動への促進を図りました。

体験事業	夏のボランティア体験月間	施設ボランティア
主催	大分県・各市町村社協	大分市社協
期間	夏休み期間	1年間
協力施設	82	48
参加者 (人)	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。	高校生 10 大学生等 0 社会人 0 <u>小中学生 0</u> 計 10

オ 収集活動ボランティアの支援

使用済み切手、書き損じハガキ、不要入れ歯(貴金属)等を受入れました。

(3) 福祉用具の貸出

市民や企業等から寄付及び寄贈された車いすやレクリエーション遊具等を、大分市民の個人や福祉活動を行っている団体等に貸し出しました。

ア 車いすの貸出：延べ 431 台

イ レクリエーション遊具の貸出：99 セット

5 災害ボランティア活動支援体制整備事業（大分市からの受託事業）

大分市地域防災計画における災害ボランティアに関する事前整備計画に基づき、被災者の生活再建に向けた第一歩となる災害ボランティア活動の支援体制の整備等を行い、共助に基づく支援体制の強化を図ることを目的に、以下の取組を行いました。

(1) 災害ボランティアの育成

ア 災害ボランティア登録の拡充

- ・災害ボランティア登録者数：448 名（令和 2 年度末 437 名）
- ・災害ボランティア登録者への可能な活動内容、活動エリア等の調査

イ 災害ボランティア養成講座

災害ボランティア養成講座の開催

災害ボランティア養成講座（場所：J:COM ホルトホール大分 大会議室）

- 【内容】
- ・災害時の「避難行動」等
 - ・被災からの「生活復旧」
 - ・地域と災害ボランティアセンターの連携

【日時】 令和 3 年 12 月 6 日（水） 11：00～

【参加者数】 61 名

※ 地域福祉推進委員研修会と兼ねて開催。参加者 61 名の内訳は、校（地）区社協関係者 45 名、ボランティア連絡協議会関係者 16 名。

(2) 災害ボランティア運営スタッフの育成

ア 災害ボランティアセンター運営者研修

【内部研修会実施状況】

災害ボランティアセンター運営リーダー研修会

【内容】 センター設置までの行動やセンターで対応する活動範囲、優先順位等

【日時】 令和 3 年 7 月 10 日（土）

【参加者数】 本会職員 6 名

【災害ボランティアセンター設置・運営に関する各種研修会への参加】

第5回災害時の連携を考える全国フォーラム（JVOAD主催）

【内容】 コロナ禍での災害時の備えについて
【日時】 令和3年5月26日（水）、27日（木）
【参加者数】 本会職員2名

第1回リーダー研修会（県社協主催）

【内容】 災害時に必要な資機材の理解を深める研修
【日時】 令和3年7月1日（水）、27日（木）
【参加者数】 本会職員6名

大分市災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会（県社協・JC主催）

【内容】 災害時のネットワークの重要性や役割に関する研修
【日時】 令和3年7月4日（日）
【参加者数】 本会職員2名 大分市ボランティアセンター運営委員会委員6名

災害時ケアプラン研修会（別府市、別府速見実行委員会共催）

【内容】 個別支援計画作成のための平時の取組みについて
【日時】 令和3年9月17日（金）
【参加者数】 本会職員1名

イ 災害ボランティアセンター運営訓練

・新型コロナウイルスの影響により、実施しませんでした。

(3) 災害ボランティア関係団体のネットワークの構築

関係機関及び関係団体等と連携・協力し、大分市災害ボランティアセンターの運営体制の整備及び災害ボランティアの育成等を図ることを目的に「大分市災害ボランティアセンター運営委員会」を下記のとおり、開催しました。

ア 第1回大分市災害ボランティアセンター運営委員会

（場所：J:COM ホルトホール大分 302・303 会議室）

【内容】 ・災害ボランティアセンターとしての活動範囲
・災害ボランティアセンタースタッフの協力内容等について
【日時】 令和3年8月2日（月） 13：30～
【参加者数】 10名

イ 第2回大分市災害ボランティアセンター運営委員会

(場所：J:COM ホルトホール大分 3階 福祉関係団体活動室)

【内容】 2年間の活動のまとめと今後の取組の方向性について

【日時】 令和4年2月7日(月) 13:30～

【参加者数】 10名

(4) その他の取組み(平時からの災害に関する情報発信)

大分市災害ボランティアセンター運営委員会での意見を踏まえ、災害時に役立つ情報発信を市民に向けて、平時から行うことを目的にパンフレット「水害被災後、住まいの復旧に向けて」を作成しました。

6 啓発事業の推進

本会事業への理解と地域福祉活動について広く啓発を図るため、大分市社会福祉大会の開催や、本会の広報紙である「おおいた市社協だより」「ボランティアだより」及び「ふくしの風」の発行と配布を行いました。

(1) 第52回大分市社会福祉大会の開催

永年地域福祉の発展に尽力された方々等を表彰するとともに、社会福祉の更なる充実を目指すことを目的に下記のとおり開催しました。

第52回大分市社会福祉大会(場所：J:COM ホルトホール大分 大ホール)

【内容】 ・主 題：「支え合って 共に生きる みんなが主役のまちづくり」

・表彰状贈呈：33団体、15個人 感謝状贈呈：2団体、26個人

【日時】 令和3年11月17日(水) 13:00～

【参加者数】 約130名

(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から式典のみの開催としました。)

(2) 広報紙の発行

ア 「おおいた市社協だより」の発行

年2回(9月、3月)発行し、市内の全世帯をはじめ、小・中学校、市役所、福祉施設などに、各号約21万部を配布することにより、市社協の事業の紹介、各校(地)区社協の活動状況、ボランティア活動への参加呼びかけや活動状況などの広報を実施しました。また、点字版も作成し、関係団体に配布しました。

イ 「ボランティアだより」の発行

ボランティア情報の提供とボランティア活動のきっかけづくりの促進を図るため、年3回(10月、1月、3月)、各号3,000部発行し、ボランティアセンターの事業、ボランティア活動への参加呼びかけやグループ紹介などの広報に努めました。

ウ 「ふくしの風」の発行

地域福祉推進委員研修会の内容を取り上げた情報紙「ふくしの風」を作成し、校(地)区社協会長、事務局長及び地域福祉推進委員と、全ての自治会長、民生委員に配布しました。

生活支援課

生活支援課は、市や県社協からの受託事業や本会独自の自主事業の取り組みをとおして、高齢者、障がい者、近くに頼れる身寄りのいない方など、地域で暮らす方々のあらゆる困りごとに対応する総合相談窓口として福祉サービス等の利用支援を行っています。

1 生活困窮者自立相談支援事業（大分市からの受託事業）

生活困窮者自立支援法（平成 27 年 4 月 1 日施行）に基づく自立相談支援事業を、大分市から委託を受けて大分市自立生活支援センターにて実施しました。

令和 3 年度は主に新型コロナウイルス感染症の影響により増加した、経済的に困りを抱える方への相談対応を行いました。相談実績は 5,466 件（前年度実績 6,333 件、対前年比 0.86 倍）と、前年度に比べわずかに減少したものの、当センターで実施している住居確保給付金や就労支援、家計改善支援事業等を活用し、継続的な支援を行うためのプラン件数は 372 件（前年度実績 270 件、対前年比 1.37 倍）と前年度に比べ 100 件程増加しました。

また、本事業における住居確保給付金は、令和 2 年度中に申請した世帯向けに 12 カ月まで支給されていた特例については終了となりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、再支給、及び職業訓練受講給付金との併給は、受付期間が延長されたことから 171 件（前年度実績 282 件、対前年比 0.6 倍）と前年度に比べれば減少したものの、例年と比較すると高い水準となりました。このため令和 3 年度は、派遣職員を最大 4 名雇用し相談業務に支障が出ないように努めました。

このような中、市関係課との連携強化や制度の更なる周知を目的として、子育て支援課や大分市青少年総合相談所等と個別に連携協議を行ったほか、大分市民生委員児童委員協議会生活支援部会や地域包括支援センターが主催する医療・介護の多職種協働ワークショップへ参加し、事業の周知を行いました。また、この他にも市社協ホームページや市報掲載を通し、制度の周知を図りました。

令和 3 年度 大分市自立生活支援センター相談対応実績

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3年度 合計	2年度 合計
新規相談 受付件数	687	841	845	495	637	473	327	397	248	170	166	180	5,466	6,333
支援決定・確 認件数 (再プランを含む)	32	40	39	33	29	35	34	26	38	12	27	27	372	270

2 生活福祉資金貸付事業（大分県社会福祉協議会からの受託事業）

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯の経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう、資金の貸付と必要な援助指導を行いました。令和3年度の新型コロナウイルス感染症の影響による経済的な困りごとを抱える相談者は、前年度と比較すると50%程度と落ち着きつつあります。

令和3年度 生活福祉資金貸付事業相談受付実績

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3年度	1,453	1,860	2,199	1,309	1,600	1,197	870	903	645	523	520	520	13,599
2年度	2,727	6,198	2,176	1,827	1,653	1,703	1,023	1,034	1,221	1,188	2,922	3,457	27,129

(1) 福祉資金（福祉費、緊急小口資金含む。）

低所得世帯の自立更正を図るための生活資金の貸付

借入申込 124件

貸付決定 120件 20,358千円

(2) 生活復興支援資金（一時生活支援費、生活再建費、住宅補修費）

被災した低所得世帯（被災したことにより低所得世帯となった場合も含む。）であって、日常生活の維持が困難となっている場合に必要の費用の貸付

借入申込 0件

貸付決定 0件 0千円

(3) 総合支援資金（生活支援費、住宅入居費、一時生活再建費）

生計中心者の離職によって、生計の維持が困難となった世帯の生活再建までの間に必要な生活費用、敷金や礼金等住宅の賃貸借契約を結ぶために必要な費用、生活の再建に一時的に必要で日常生活費により賄うことが困難な費用の貸付

借入申込 17件

貸付決定 17件 6,646千円

(4) 教育支援資金（教育支援費、就学支度費）

高等学校、高等専門学校、短期大学、大学に就学するのに必要な入学支度金や授業料の貸付（* 他の奨学金制度が決定するまでのつなぎとして対応）

借入申込 71件

貸付決定 70件 46,893千円

(5) 不動産担保型生活資金（要保護世帯向け含む。）

一定の居住用不動産を有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯の自立支援を目的とし、当該不動産を担保とした生活資金の貸付

借入申込 0 件
貸付決定 0 件 0 千円

(6) 特例貸付

緊急小口資金

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持が困難となった世帯への少額な費用の貸付

貸付申込 1,471 件
貸付決定（2 年度中受付後決定分を含む。） 1,485 件 291,940 千円

総合支援資金（延長貸付、再貸付分を含む。）

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯への生活再建までの生活費用の貸付

貸付申込 4,212 件
貸付決定（2 年度中受付後決定分を含む。） 4,419 件 2,310,390 千円

3 日常生活自立支援事業（大分県社会福祉協議会からの受託事業）

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力の十分でない方々が、地域で安心した生活が送れるよう、主に福祉サービス利用援助、日常生活に必要な手続の援助、日常的なお金の出し入れの援助、大切な書類等のお預かりについて援助しました。

令和 3 年度 日常生活自立支援事業相談件数、契約件数及び解約件数 (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3年度	2年度
相談件数	16	17	12	13	21	20	18	19	21	20	11	14	202	133
契約件数	0	4	2	3	2	4	4	5	5	0	3	2	34	44
解約件数	2	4	5	5	7	5	4	1	3	1	5	1	43	35

(令和 3 年度末の契約件数 175 件)

(令和 2 年度末の契約件数 184 件)

4 やすらぎ生活支援事業（自主事業）

近くに頼れる身寄りのない方が、地域で安心した生活が送れるよう、入院時、施設入所時、物忘れが出た時などに必要な支援について援助を行いました。

また、契約時には任意後見制度も併せて契約することとしており、判断能力が低下しても支援が途切れず受けることができます。

令和3年度 やすらぎ生活支援事業相談件数、契約件数及び解約件数 (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3年度	2年度
相談件数	3	2	1	2	5	3	3	3	1	2	5	5	35	39
契約件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	4
解約件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0

(令和3年度末の契約件数 22件)

(令和2年度末の契約件数 22件)

5 大分市成年後見センター事業（大分市からの受託事業）

平成30年4月に大分市から委託を受けて、大分市成年後見センターを本会事務局内に設置し、同年10月にJ:COMホルトホール大分3階に移転し本格稼働しました。

本センターでは、認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由により判断能力が十分でない方々が安心・安全な生活を送ることができるよう、成年後見制度に関する相談対応、成年後見制度普及・啓発活動の実施、市民後見人養成講座の開催、及びこれまでに市民後見人養成講座を受講した方に対するフォローアップ研修を実施しました。

また、本会を成年後見人等（保佐人、補助人を含む。）候補者として受任の適否等を審査する大分市成年後見センター運営委員会を年5回開催し、19件中11件（内3件は本人死亡のため申立取下げ）を本会に、7件を社会福祉士会及び弁護士会が受任し、1件については、他の制度による対応が適当であるとの判断を受けました。この結果、本年度8件の新規受任が確定し、年度末の受任件数は26件となりました。

(1) 令和3年度 相談対応実績

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3年度	2年度
新規相談 受付件数	17	26	27	25	22	24	18	30	30	12	19	28	278	157
継続相談 受付件数	4	8	8	8	7	2	4	9	16	12	8	17	103	122
合計	21	34	35	33	29	26	22	39	46	24	27	45	381	279

7 障がい者相談支援事業（大分市からの受託事業）

在宅で生活している障がい者やその家族が、住み慣れた地域の中で、自分らしくいきいきと暮らしていけるよう、地域の総合相談窓口として、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための広範囲できめ細かな支援や情報提供等に努めました。

また、平成 30 年度から開始した「大分市地域生活支援拠点等整備推進事業」において、障害の特性に起因して生じた緊急事態等に係る相談に 32 件対応、うち緊急時支援が必要な相談は 1 件でした。

なお、障がい者相談支援事業の受託に加えて、指定特定相談支援事業者として、サービス等利用計画作成にも引き続き取り組みました。

（1）相談支援事業（受託）

（単位：件）

活 動 項 目		早 朝 ～8:30	午 前 8:30～	午 後 12:00～	夜 間 17:15～	3 年 度 合 計	2 年 度 合 計
会 議	自立支援協議会	0	4	2	0	6	6
	個別調整会議	0	7	3	1	11	15
	その他の会議	0	0	1	1	2	3
訪問相談	単 独	1	92	179	3	275	261
	合 同	0	35	41	2	78	82
来所相談	単 独	0	16	23	0	39	35
	合 同	0	2	5	0	7	2
電話相談	利 用 者	4	157	212	32	405	503
	行政機関	0	19	31	1	51	46
	関係機関	4	177	281	13	475	479
メール 相談	利 用 者	6	14	25	7	52	58
	行政機関	0	0	0	0	0	1
	関係機関	0	2	4	0	6	3
連絡調整	利 用 者	1	129	225	21	376	377
	行政機関	2	65	128	5	200	160
	関係機関	1	299	642	36	978	730
資料等の 作成	相談記録	7	361	566	66	1,000	1,034
	調整会議等資料作成	0	0	1	0	1	2
	そ の 他	0	0	0	0	0	4
合 計		26	1379	2369	188	3,962	3,801

(2) サービス等利用計画

(単位：件)

支援内容	令和3年度	令和2年度
計画作成	113	110
モニタリング	297	286
年間合計	410	396

8 包括的支援・介護予防事業（大分市からの受託事業）

地域包括支援センター事業

（城東地域包括支援センター、佐賀関・神崎地域包括支援センター）

地域の高齢者が住み慣れた地域で心身ともに健康で尊厳ある生活を継続していただけるよう、介護予防マネジメント、総合的な相談と支援、権利擁護に関する事業などを地域において一体的に実施しました。また、地域の関係機関のネットワークの構築の強化に努めました。

加えて、城東地域包括支援センターでは、大分市内の地域包括支援センターで唯一、認知症地域支援推進事業を受託しております。

(単位：件、回)

業務内容・相談対応件数		城東		佐賀関・神崎	
総合 相談 支援	介護・高齢者サービス	2,141	3,476	1,018	2,081
	その他のサービス	53		40	
	介護予防	95		68	
	生活・健康問題	467		283	
	入退院(所)時の調整	330		183	
	困難事例	66		165	
	苦情	10		25	
	実態把握・見守り	251		129	
	照会・連携	63		170	
権利 擁護	高齢者虐待	39	129	21	131
	認知症	49		67	
	成年後見	11		1	
	消費者被害	0		1	
	その他	30		41	

(単位：件、回)

業務内容・相談対応件数			城東		佐賀関・神崎	
包括的 ・ 継続 的 ケア マネ ジメン ト 支 援業 務	自立支援型ケアプラン相談会		2	6	2	9
	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援		0		0	
	個別事例に対する地域ケア会議 の開催	※ケース会議	0		0	
	ケアマネジメントの質の向 上のための研修	※介護支援専門 員研修	1		4	
	ケアプラン作成助言等を通じた介護支援専門員 のケアマネジメントの助言		0		0	
	居宅介護支援事業者・サービス事業所からの相 談		3		3	
介護予 防事業 対 ケアマネ ジメン ト 者	電話相談		61	89	49	133
	来所相談		4		12	
	訪問相談		24		72	
業務	介護予防支援（電話・来所）		2,405	4,056	2,500	5,040
	要支援（訪問）		1,058		1,541	
	サービス担当者会議		209		287	
	介護保険関係申請代行		384		712	
令和3年度 合計			7,756	7,394		
令和2年度 合計			7,098	6,604		

(単位：件、回)

介護予防給付請求等件数	令和3年度		令和2年度	
	城東	佐賀関・神崎	城東	佐賀関・神崎
介護予防給付請求件数	3,472	3,002	3,647	2,517
介護予防教室の開催	2	2	0	1

(単位：回)

研 修 会	令和3年度		令和2年度	
	城東	佐賀関・神崎	城東	佐賀関・神崎
包括センター主催の研修会（ケアマネの質の向上）開催	1	4	1	3
サロン・老人会・会議への参加	89	118	86	82

(単位：件)

相談・業務内容		令和3年度		令和2年度	
		城東		城東	
認知 症 地 域 支 援 推 進 事 業	地域におけるネットワークの構築関係	594	978	625	930
	認知症が疑われる方に関する支援関係	191		233	
	大分県認知症疾患医療センター・サポート医・かかりつけ医との連携関係	26		19	
	確定診断を受けた方に関する支援関係	7		0	
	若年性認知症関係	25		23	
	就労支援関係	0		0	
	会議・研修会の開催	73		18	
	会議・研修会への参加	62		12	

在宅福祉サービス課

在宅福祉サービス課は、介護保険事業をはじめとする各種在宅福祉サービスを高齢者の方や障がい者の方に対し提供しました。

また、オンラインを活用した内部研修会の開催や外部研修等への積極的な参加により、職員の資質向上を図りました。

1 介護保険事業

(1) 訪問介護及び介護予防・日常生活支援総合事業（大分市ホームヘルパーステーションさざんか）

ホームヘルパー46名を配し、要介護又は要支援状態にある高齢者等に対し、自宅へホームヘルパーを派遣し生活援助や身体介護等のサービスを提供しました。

令和3年度要介護度別延利用者数【訪問介護】 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3年度	2年度
事業対象者※ (総合事業)	12	9	15	13	16	15	14	16	16	12	14	18	170	160
要支援1	209	201	206	202	196	199	212	218	208	209	179	203	2,442	2,864
要支援2	388	370	367	388	373	362	358	361	372	324	326	374	4,363	4,135
要介護1	505	505	492	498	482	514	518	542	491	489	520	559	6,115	5,615
要介護2	234	202	211	194	187	186	187	160	150	126	121	112	2,070	3,114
要介護3	112	203	210	222	204	179	139	138	136	142	150	163	1,998	1,023
要介護4	87	87	77	78	110	137	110	129	114	112	107	117	1,265	1,435
要介護5	72	69	76	75	45	48	62	73	49	43	42	46	700	778
合計	1,619	1,646	1,654	1,670	1,613	1,640	1,600	1,637	1,536	1,457	1,459	1,592	19,123	19,124

※「事業対象者」・・・平成29年度介護予防・日常生活支援総合事業開始に伴い新たに設けられた区分

(2) 通所介護及び介護予防・日常生活支援総合事業（大分市老人デイサービスセンターさざんか）

要介護又は要支援状態にある高齢者等に対し、在宅生活が続けられるよう、残存機能の維持・向上を目的とした体操や個別動作訓練の取組や認知症ケアに対応した個別支援を実施することで、利用者一人ひとりの心身の安定を図りました。

また、在宅介護を実施している家族の方からの介護相談に対し助言を行うことで、在宅生活が安心して過ごせるよう本人と家族に対し継続的なサービスを提供しました。

令和3年度要介護度別延利用者数【通所介護】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3年度	2年度
事業対象者 (総合事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	18	20	19	20	26	25	20	13	14	12	10	10	207	224
要支援2	59	58	49	52	42	33	35	26	31	30	28	29	472	606
要介護1	224	217	207	220	198	190	179	180	186	146	147	158	2,252	2,538
要介護2	87	74	32	50	58	68	74	66	68	70	80	84	811	819
要介護3	35	36	35	60	73	68	52	51	47	46	46	52	601	802
要介護4	70	61	62	63	48	24	17	17	7	6	12	16	403	701
要介護5	38	37	36	37	31	60	55	71	50	53	51	50	569	693
合計	531	503	440	502	476	468	432	424	403	363	374	399	5,315	6,383

※「事業対象者」：平成29年度介護予防・日常生活支援総合事業開始に伴い新たに設けられた区分

(3) 居宅介護支援及び介護予防支援事業（大分市介護保険サービスセンターさざんか）

要介護状態にある高齢者に対し、介護サービス計画の作成や連絡調整、適切な介護サービスが利用できるように支援しました。

また、地域包括支援センターからの委託を受け、介護予防が必要な高齢者に対して自立に向けた予防プランの作成を行いました。

令和3年度プラン作成数【居宅介護支援】

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3年度	2年度
ケアプラン	324	319	312	324	317	324	330	329	329	322	314	308	3,852	3,732
介護予防プラン	28	28	28	31	30	30	30	32	32	31	33	31	364	351

2 障がい福祉サービス事業等

(1) 障がい福祉サービス事業（大分市障害者等ホームヘルプステーションさざんか）

身体、精神及び知的障がい者、障がい児等が居宅において日常生活を営むことができるようホームヘルパーを派遣して、家事や身体介護等の必要な支援を行いました。

令和3年度障がい別延利用者数【障がい福祉サービス事業】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3年度	2年度
身体障がい者	435	407	435	451	428	450	459	448	460	422	398	449	5,242	5,699
知的障がい者	82	78	84	80	84	82	83	83	81	90	97	101	1,025	1,046
児童	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	113
精神障がい者	82	76	72	64	59	65	51	59	46	44	42	48	708	1,070
合計	599	561	591	595	571	597	593	590	587	556	537	598	6,975	7,928

(2) 特定相談支援事業（相談支援事業所さざんか駅南）

障がい者施策の充実及び障がい者の意思、人格を尊重した生活の質の向上に資する適切なサービスを、行政機関や障害福祉サービス事業所等と連携し、広域的かつ一体的なサービスとして提供しました。

令和3年度サービス等利用計画作成数 (単位：件)

支援内容	3年度	2年度
計画作成	141	121
モニタリング	472	330
年間合計	613	451

3 地域支援（介護予防）事業及び生活支援事業（大分市からの受託事業）

(1) 生活支援ホームヘルプサービス事業

介護保険対象外のひとり暮らし高齢者等に対し、生活援助や身体介護等のサービスを提供しました。

- ・延べ利用者数 601名（前年度延べ利用者数 777名）

(2) 生きがい対応デイサービス事業

日常生活は自立しているが、高齢により身体的に虚弱で家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、入浴、機能訓練などのサービスを提供するものです。

- ・延べ利用者数 32名（前年度延べ利用者数 18名）

(3) 地域交流事業実施状況

新型コロナウイルス感染症対策を十分に行ったうえで、介護福祉士等の養成校からの介護実習生の受け入れを行い、将来の福祉関係従事者の育成に取り組みました。

また、社会福祉法人博愛会が運営する博愛大学校どり一む介護科の生徒4名を介護実習生として受け入れ、知的障害のある方に対する介護指導なども実施いたしました。

【実習生等受入】

受入期間	受入人数	依頼元
15日間	1名	大原学園（介護実習）
3日間	2名	大原学園（福祉職場体験）
7日間	3名	大分南高等学校（介護実習）
4日間	4名	博愛大学校どり一む介護科（介護実習）

<事業報告書の附属明細書について>

上記の事業報告に関して、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定されている附属明細書については、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成しておりません。